

令和5年  
3月定例会

# 一般会計補正予算(第8号)等の議案を可決!

令和5年第2回3月定例会は、去る2月27日から3月20日までの22日間の会期で開かれました。

今回の定例会では、中山義隆市長の市政方針演説が行われ、令和5年度の市政運営の方針が示されたほか、「石垣市個人情報の保護に関する法律施行条例」等の条例議案14件、「令和4年度石垣市一般会計補正予算(第8号)」等の補正予算議案7件、「令和5年度石垣市一般会計予算」8件、その他議案8件の計37件の案件が市長より提出され、議案第28号石垣市キャンプ場設置及び管理に関する条例及び石垣市観光施設の設置及び管理に関する条例(以下「議案第28号」という。)は、継続審査となり、同意第4号副市長の選任は不同意となりました。その他は原案のとおり可決・承認・同意されました。

なお、本会議の議決にあたり、総務財政委員会には、「令和4年度石垣市一般会計補正予算(第8号)」等6件の議案を付託。経済民生委員会には、「石垣市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)」等15件の議案を付託。建設土木委員会には、「令和4年度石垣都市計画土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)」等9件の議案が付託されました。

議員提出議案については、「知事公約である学校給食費無償化実現を早急に求める意見書」など計8件の意見書がそれぞれ可決されました。また、委員会提出議案では「石垣市議会の個人情報の保護に関する条例」が可決されました。

3月13日から5日間の日程で行われた一般質問では、20人の議員が本市の諸課題について質すなど活発な議論が交わされました。

## 令和5年度 石垣市一般会計予算 可決

3月定例会では、総務財政委員会(長山家康委員長)に、「令和4年度一般会計補正予算(第8号)」等6件の議案が付託され、慎重審査の結果、原案のとおり可決・同意すべきものと決定され、本議会において委員長報告の通り可決・同意された。

本予算の総額は、歳入歳出それぞれ349億5734万円と定めるもので、前年度当初予算に比べ22億494万円、率にして6・7%の増額となっております。

特筆的な事項としては、まず歳入において、「自主財源」は17億3235万1千円、19・5%の増加となっております。その根幹である「市税」は3億44万1千円、5・2%の増と、また、ふるさと納税の増額傾向により「寄附金」は3億5000万円、77・6%の増、「繰入金」は7億2928万2千円、39・7%の増、「諸収入」は2億8028万5千円、165・7%の増となっておりますが、「分担金及び負担金」は1836万3千円、

13・6%の減となっております。

歳入の主な内容は、1款「市税」は61億3374万2千円(構成比17・5%)で、景気の緩やかな回復を見込み、市民税、固定資産税を増額し、前年度比3億44万1千円(5・2%)の増、7款「地方消費税交付金」は11億9049万8千円(構成比3・4%)で、前年度比1億5735万円(15・2%)の増、12款「地方交付税」は75億8147万円(構成比21・7%)で、2億5899万6千円(3・5%)の増、19款「寄附金」は8億100万7千円(構成比2・3%)で、増額傾向の実績を見込み3億5000万円(77・6%)の増、20款「繰入金」は25億6559万6千円(構成比7・3%)で、7億2928万2千円(39・7%)の増となっております。

次に、歳出の主な内容は、3款「民生費」で128億7332万6千円(構成比36・8%)で、認可保育園施設運営安定化のための「児童運営費」に29億990万2千円を、新川地区の児童館整備を行う「児童厚生施設整備事業」に5億7932万6千円を、また、必要な障害者福祉サービスに係る給付や支援を行う「介護訓練等給付費」に15億7116万8千円などを計上してあります。10款「教育費」は27億6927万3千円(構成比7・9%)で、タブレット端末等ICT環境の維持管理に係る「GIGAスクール構想推進事業」に7449万8千円、児童生徒の学校生活支援や不登校児童生徒の復学支援を行う「不登校対策等支援員配置事業」に2643万9千円などを計上してあります。その他に、過去最高の14億円を見込む「ふるさと納税」の活用として、医療費の自己負担分の助成を高校生まで拡充する「子ども医療費助成事業」に2000万円、また、人口5万人達成時に、市民や観光客が一体となって祝うイベント開催費に1500万円を充てるなど、まちづくりに資する事業、計25事業に充てて活用するものとしております。以上が本予算案の概要であります。